



地域と学校と社協ですすめる

始めよう！福祉教育

地域共生社会って
なんだろう？

高齢の方、障がいのある方って
どんな人だろう？
何に困っているのかな？
どうやって手助けしたら…？

ユニバーサルデザイン？
バリアフリーと
何が違うの？

地域の人と交流も
できたらいいな

「まちのやさしさ発見」
住みやすいまちづくりについて
考える参考にしたい

色々な体験を通して
学びを深め、
視野を広げたい

あったか応援センター(ボランティアセンター)



社会福祉法人 東広島市社会福祉協議会

● ● ● ● 目次 ● ● ● ●

①福祉とは？福祉教育とは？	… 2 ページ
②キラッとかがやく★	
学校の取り組みをご紹介します！	… 3 ページ
③福祉教育のことなら、まずは	
社協にご相談ください！	… 14 ページ
④福祉の学習メニューについて	… 15 ページ
(目の不自由な方への理解を深める)	
・アイマスク体験	… 15 ページ
・点字体験	… 15 ページ
・音訳体験	… 15 ページ
・盲導犬の学習	… 16 ページ
(耳の不自由な方への理解を深める)	
・手話体験	… 16 ページ
・要約筆記体験	… 16 ページ
(足の不自由な方への理解を深める)	
・車いす体験	… 17 ページ
(高齢の方への理解を深める)	
・高齢者疑似体験	… 17 ページ
・認知症サポーター養成講座	… 17 ページ
(防災・減災への理解を深める)	
・災害カードゲーム クロスロード	… 18 ページ
・避難所運営ゲームHUG	… 18 ページ
・防災カルタ	… 19 ページ
・きいちゃんの避難ゲーム (和歌山県)	… 19 ページ
(その他)	
・福祉の職場魅力発見授業	… 20 ページ
・映画「ケアニン～こころに咲く花～」	… 20 ページ
・学習後の成果発表の場づくり	… 20 ページ
・動画・プリント教材の提供 (広島県介護福祉士会)	… 21 ページ

これから福祉教育に取り組む皆さんへ

福祉とは？ 福祉教育とは？

「福祉」ってどんなことだと思いますか？

福祉の「福」と「祉」…どちらも「しあわせ」という意味

福祉（ふくし）…「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」

福祉は、高齢者や障がいのある方、何かに困っている人のための特別なものではなく、すべての人にとって大切なものです。毎日の生活の中で、色々な人と関わりながら、助けたり、助けられたりすることがあると思います。

自分たちが生活している地域が、誰にとっても住みやすい地域になるように、できることを皆で考え、お互いに支え合うことこそが「福祉」なのです。

「福祉教育」と聞いてどのようなことを連想しますか？

すべての人の「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」を実現させるためにどうしたらよいかを考え、周りの人たちと一緒に実践できるようにしていく「ともに生きる力」を育むことが福祉教育の目的です。

自分たちの生活している地域が、誰にとっても住みやすい地域になるようにするには、子ども、障がいのある方、高齢者、すべての人がそれぞれ役割を持ち、支え合いながら暮らせる地域を自分たちで作り上げていく必要があります。

そのことを、子どもの頃から「自分ごと」として意識し、地域社会の一員としての土台作りをするために、「福祉教育」は、学校のみだけでなく、地域の方々の力も活用しながら展開することが大切です。

参考：社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター「福祉教育の理論と実践方法」（2022年3月）

子どもたちが自分たちの住む地域の課題を「自分ごと」として捉え、「自分ができることは何か？」と考え始めたキラッとかがやく学校の取り組みを、次ページよりご紹介します！





キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



学校のねらい

東広島市立龍王小学校 4年生 195名

- 誰もが暮らしやすい龍王地域にするためには、学校や地域でどのような助け合いや声のかけ合いが必要かを学び、できることを自分事として考えてもらいたい。
- 地域の良さを見つけようとする活動を通して、地域に対する親しみと愛着を高め、友達や地域の人々と一緒に協力して取り組もうとする態度を育てたい。

取り組みの内容

①地域の方のお話から、自分たちが暮らしている龍王地域の良いところや魅力を見つけよう！



②学習をよりよいものにするために、まずは先生が「ふだんのくらしのしあわせ」について考えました！（夏季校内研修）



③様々な人々の立場や生活、気持ちについて考え、誰もが暮らしやすい龍王地域にするために、自分たちに何ができるか考えよう！



当事者の方の話を聞いたり福祉体験学習を行った。



⑥誰もが暮らしやすい龍王地域にするために自分たちにできることを実践しよう！Part2



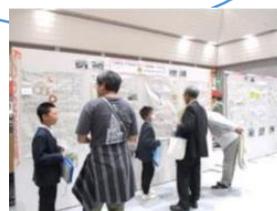
地域の人々と協力し、龍王山の植樹や憩いの森公園の清掃活動を行った。

⑤誰もが暮らしやすい龍王地域にするために考えたことや実践したことを伝え合おう！



龍王サミットで他学年や周囲の人々に発表した。

④誰もが暮らしやすい龍王地域にするために自分たちにできることを実践しよう！Part1



地域に対する思いや福祉の大切さについてこころんフェスティバルで発信した。

成果

- 周囲の人々のためにできることを話し合い、どのようにすれば助けとなるか、相手に寄り添う視点から考えることができた。
- 課題解決に向けた取り組みを振り返り、活動を通して学んだことについて、自分の考えや想いを発信することができた。

取り組んだ児童の声

- 地域の人に支えてもらっていることが分かったから、自分も地域のためにできることからがんばりたいと思った。
- 子ども大人関係なく、いろいろな人と助け合えることが分かった。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 民生委員児童委員や福祉専門職の方に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 福祉教材の貸し出しを行う。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度地域の方や福祉専門職の方とつなぐ。
- 社協公式 SNS を活用し、取り組みの周知を行う。





キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



学校のねらい

東広島市立板城小学校 3年生 65名

- 板城の地域をみんなにやさしい町にするために、自分たちにできることを考え、周囲の人々に発信し自ら実践しようとする力を育てたい。
- 地域で生活している人々との交流や関わりを通して、相手に寄り添って物事を考えることや地域の人々とともに助け合っていくことの大切さを学んでもらいたい。

取り組みの内容

①バリアフリーの視点から、自分たちが過ごす学校がやさしい場所か調べてまとめてみよう！



②様々な人々の生活や立場、気持ちについて理解を深め、助け合うことの大切さについて考えよう！



福祉体験学習やパラスポーツ、地域の方へのインタビューを行った。

③地域の人々にとってやさしいまちにするために、自分たちにできることを考え、周囲の人々に伝えよう！



活動を通して自分たちが考えたことを学習発表会で発信した。

⑥施設で生活している高齢者の方を笑顔にするために、自分たちにできることを実践しよう！

長寿苑を訪問し、利用者さんとの交流会を企画・実施した。



⑤周囲の人々を笑顔にするために、実際に地域に出て、自分たちにできることを実践しよう！

地域のサロンを訪問し、みんなが笑顔で過ごせるよう交流会を企画・実施した。

④地域でやさしさを広げるために、今自分たちにできることを企画し活動をすすめよう！



社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 民生委員児童委員や福祉専門職の方に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 福祉教材の貸し出しを行う。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度地域の方や福祉専門職の方とつなぐ。
- 社協公式 SNS を活用し、取り組みの周知を行う。

成果

- 福祉学習で学んだことを活かして、子どもたちが主体的に実践し、地域に貢献する経験をすることができた。
- 取り組み後の学校生活や学習において、子どもたちがすすんで多様な人々の立場になって物事を考え、行動する場面が増えた。

取り組んだ児童の声

- 地域の皆さんとたくさん交流できたことや、自分たちの活動を喜んでもらったことがうれしかった。
- これからも地域のために自分にできることを考えて、挑戦してみたい。





キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



学校のねらい

東広島市立高屋西小学校 4年生 112名

- 学校や地域で活動している様々な人との関わりを通じて、地域の良さや周囲の人々の想いに気づいた上で、主体的に課題を見出し、解決に向けて積極的に取り組もうとする態度を育てたい。
- よりよいまちづくりや支え合いをすすめるために必要なことを考え、地域のために自分ができることを実践してもらいたい。

取り組みの内容



社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 民生委員児童委員や福祉専門職の方に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 福祉教材の貸し出しを行う。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度地域の方や福祉専門職の方とつなぐ。



成果

- 地域の方々の想いや願いをもとに、課題を主体的に見出し、周囲の人々と協力して課題を解決しようとする行動することができた。
- 地域貢献の実践を通して、自ら地域をよりよくしようとする態度が見られた。

取り組んだ児童の声

- 地域のために活動されている人々のように、自分もいろいろな人と助け合える大人になりたい。
- 周りの人々に支えられていることが分かったから、これからはもっと高屋のまちや仲間、絆を大切にしていきたい。



キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！

東広島市立中黒瀬小学校 4年生 90名

学校のねらい

- ・4学年のテーマ「満天」を下に、地域には多様な人が暮らしていることを知り、自分だけではなくみんなが幸せで元気に暮らし、”ともに生きる”ために自分たちに何ができるかを考えてもらいたい。
- ・体験で終わるのではなく、学んだことを児童の言葉で地域に伝え、地域の一員として郷土愛を持ってほしい。

取り組みの内容

①まずは”福祉”について知り、地域には多様な人が住んでいることを学ぼう！



②福祉体験学習を通じて地域の多様な人々の生活や気持ち、困りごとについて学び、自分たちにできることは何かを考えよう！



③地域の施設職員さんから、高齢者の生活や困りごとについて教えてもらい、身近な高齢者への理解を深めよう！（高齢者疑似体験）

⑥自分たちが調べたり学んだりしたことや、これから取り組んでいきたいことを地域の方や、保護者、体験学習に関わった専門職や大学生、オレンジボランティアに伝えよう！



体験セットの貸出を児童が社協に電話を掛けて依頼した。

⑤これまで学んだことを振り返ることで学びを深め、自分の想いをまとめてみよう！



「福祉フェスタ」

④認知症サポーター養成講座を参観日に開催し、認知症の方が安心して暮らせるよう、保護者と一緒に自分にできることを考えよう！



成果

- ・体験学習の前に、福祉に関する導入授業を取り入れたことで、福祉に対する理解がより深まった。
- ・体験学習を通じて、地域の多様な人と”ともに生きる”ことを意識しながら、自分たちにできることは何かを主体的に考え、学んだことを地域の方々へ伝えることができた。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- ・企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- ・福祉専門職や大学生、オレンジボランティアに協力を依頼し、学校とつなぐ。
- ・福祉フェスタで福祉教材（車いす、高齢者疑似体験セット、アイマスク）の貸出を行う。



取り組んだ児童の声

- ・自分たちが学んだことを地域の人に知ってもらえて、いい機会だった。
- ・5年生になったら、今まで学んだ福祉のことを活かして、カッコいい5年生になりたい。



キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



学校のねらい

東広島市立入野小学校 3年生 23名

- 自分たちの住む入野地域との関わりから、SDGs 11「住み続けられる町づくりを」と関連させた課題を見つけ、友達や地域の人々と協力しながら、地域の課題の解決のために自分たちにできることを考えようとする態度を育てたい。
- 地域の人々との交流や福祉体験学習を通じて、SDGs 3「すべての人に健康と福祉を」と関連させ同じ地域で生活する人々の願いややさしさにふれることで、地域で助け合うことを大切さについて学んでもらいたい。

取り組みの内容

①自分たちが生活している入野地域を探検し、地域の人々の想いや願いを見つけよう！
(社会と関連)



②地域の人々の話から入野のすてきなところを見つけ、どうすればもっとすてきな地域にできるか考えよう！



③様々な人々の生活や困りごとについて理解を深め、入野のみんなが元気で生活するために、自分たちにできることを考えよう！



福祉体験学習や、地域の方へのインタビューを行った。

⑥1年間を通して学んだこと、考えたことを振り返り、自分たちの想いを地域の人々に発信しよう！

地域の人々を元気づけるためのバリアフリーを考え発表した。



⑤入野のみんなを元気づけるために必要な取り組みを自分たちで考え、地域をもっと応援しよう！

④学習で学んだことを活かし、施設で生活している高齢者の方と交流しよう！



ジューンベリーの家を訪問し、利用者の方と交流を行った。

成果

- 地域の方の想いや願いを踏まえて、地域のために自分たちができることを考え、地域の一員として行動しようとする場面が見られた。
- 入野で暮らす人々が安心して生活できる地域をみんなでつくりあげていくことの大切さに気づき、地域創生の学びを深めることができた。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 民生委員児童委員や福祉専門職の方に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 福祉教材の貸し出しを行う。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度地域の方や福祉専門職の方とつなぐ。

取り組んだ児童の声

- 自分たちが住んでいる地域のすてきなところをたくさん見つけることができてうれしかった。
- 自分たちが取り組んだ活動で、地域の人々が笑顔になってくれたことがよかった。





キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立安芸津中学校 3年生 48名

学校のねらい

- ・地域の魅力や課題、人々の思いを共感的にとらえると共に、生徒同士の意見交流を通して、新しい視点や方法を身に付けてもらいたい。
- ・安芸津町の実態から課題を見つけ、地域の人と協働しながら「安芸津町の将来を担う」施策を考え、地域に発信し、将来自分がどう地域や社会に貢献していくべきか考えてもらいたい。

取り組みの内容（安芸津活性化プロジェクト）

①安芸津町内の生活状況や福祉の現状を学ぼう！

専門職の話から、地域の現状やボランティアの心得について学んだ。



②地域で認知症の方が安心して暮らせるよう、自分にできることを考えよう！（認知症サポーター養成講座）



③乳幼児とお母さんとふれあって、命の尊さやお母さんの気持ちを学ぼう！

④地域の方と交流し、地域での取り組みを知り、自分にできることを考えよう！



地域サロンや児童館あきまる園、自立支援センターつばさでボランティア活動を行った。

⑥「すべての人が生活しやすい安芸津」を目指して作成した企画を広めよう！

⑤「すべての人が生活しやすい安芸津」を目指して、生徒が地域でできることを企画し、実践しよう！



安芸津が活性化できるために、ボランティア活動先でできることを専門職と意見交換し、4グループで企画を実践した。

地域の方など周囲の人に文化祭で発表した。



社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- ・企画の段階から学校や関係機関と話し合い、プログラムや内容について提案。
- ・地域でのボランティア先について連絡調整を行い、学校での取り組み内容について随時連絡をとり連携した。

成果

- ・生徒が中心となり、安芸津を良くするためにできることを考え、実践することができた。
- ・地域の人たちの生の声を聞き、子どもたちや高齢者等との関わりの中で、現実的な地域課題が分かった。

取り組んだ生徒の声

- ・安芸津の現状を学んでボランティア活動をしたが、ボランティア活動をしてみても思ったことと違うこともあった。人とふれあうことで、もっとこうしたらどうだろうか？と探求することができた。
- ・将来どんな安芸津になっているか考えさせられ、ボランティア活動を通して役立つことは自分も嬉しいと分かり、自分からも積極的にボランティアに参加したい。
- ・「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられたり、笑顔で喜んでくれた時が嬉しかった。
- ・貴重な経験をたくさんしたから、それを活かしてこれから頑張っていきたい。





キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



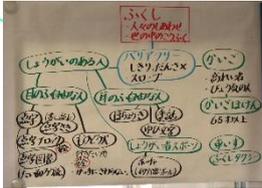
学校のねらい

東広島市立造賀小学校 3年生 14名

- ・「みんなが助け合い笑顔になる生活を」をテーマに、どうすれば造賀に住む人々が豊かに暮らせるのか、そのために今自分たちにできることは何なのかを考え、実践しようとする意欲を育てたい。
- ・同じ地域で暮らす様々な人々とふれあい、地域の人々の想いや学習での体験から見つけた課題を探求することを通して、地域や地域に住む人々を大切にしてもらいたい。

取り組みの内容

①学校のまわりを探検し、自分たちが暮らす地域が笑顔になれる場所が調べてみよう！（社会と関連）



②地域の施設職員さんから、高齢者のことや、より身近な福祉について教えてもらい、福祉への理解を深めよう！

③様々な人々の生活や気持ち、困りごとについて考え、地域 みんなが笑顔で生活するために、自分たちに何ができるかを話し合おう！



福祉体験学習やバラスポーツ、地域の方へのインタビューを行った。

⑤施設で生活している高齢者の方を笑顔にするために、自分たちにできることを企画し、実際に行動しよう！



造賀福祉園の利用者さんとのオンライン交流会を企画、実施した。

④地域 みんなが笑顔になるために、自分たちにできることを周りの人々に発信して広めよう！



福祉に関する様々なテーマについて自分たちが考えたことを学習発表会で伝えた。

⑥1年間を通して学んだこと、考えたことを振り返り、地域の中で自分にできることを伝え合おう！



みんなが笑顔になれる福祉グッズを考えて発明した。

成果

- ・子どもたちが力を合わせて、「みんなを笑顔にしたい、元気にしたい」という目標を達成することができた。
- ・地域に住む人々が豊かに暮らすために、自分たちにできることを主体的に考え実践し、相手も自分も笑顔になる経験ができた。

取り組んだ児童の声

- ・地域の人々や造賀福祉園の高齢者の方が、自分たちと一緒に笑顔になってくれてうれしかった。
- ・これからも色々な人に「福祉」の大切さを伝え、みんなで助け合うことを呼びかけていきたい。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- ・企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- ・民生委員児童委員や福祉専門職の方に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- ・福祉教材の貸し出しを行う。
- ・児童や学校から質問があった際は、その都度地域の方や福祉専門職の方とつなぐ。
- ・社協公式 SNS を活用し、取り組みの周知を行う。





キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立龍王小学校 4年生 164名

学校のねらい

- ・地域の人々との交流や福祉体験学習を通して、自分たちの地域や身近にある、誰もが過ごしやすい工夫や取り組みに気づいた上で、探求していきたい自分の課題を持ってもらいたい。
- ・様々な人々の生活や想い、困りごとに気づき、誰もが暮らしやすい龍王地域にするために自分たちにできることを主体的に考え、実践することができる力を育てたい。

取り組みの内容

①福祉について理解を深めるために、自分たち一人ひとりの「ふだんのくらしのしあわせ」はどんなことか考えてみよう！



②同じ地域で暮らしている車いすユーザーの方と一緒に、みんなで助け合うことの大切さについて考えよう！

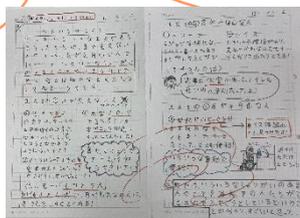


③地域の方々と一緒に福祉体験学習に取り組み、地域で生活する上での困りごとや、自分たちにできる助け合いについて考えよう！



⑥誰もが過ごしやすい龍王地域にするために、自分たちにできることを周りの人々に発信し広めよう！

児童がスライドを作成し、周囲の人々に向けて発表した。



⑤これまで学んだことを振り返り、自分の想いや考えが相手に伝わるようにまとめてみよう！

④誰もが過ごしやすい学校、暮らしやすい龍王地域にするために、自分たちにできることを考え、実践しよう！



児童が点字を作成し、学校内に掲示した。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- ・企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- ・当事者の方や福祉専門職の方に講師（ゲストティーチャー）を依頼し、学校とつなぐ。
- ・民生委員児童委員やボランティアに協力を依頼し、学校とつなぐ。
- ・福祉教材の貸し出しを行う。
- ・児童や学校から質問があった際は、その都度当事者の方や地域の方とつなぐ。
- ・社協公式 SNS を活用し、取り組みの周知を行う。

成果

- ・身近にある、誰もが過ごしやすい工夫や助け合いに気づき、周りの人々を大切にしようとする意欲を育てることができた。
- ・自分の想いや考えが相手に伝わるよう、自信を持って周りの人々に発表することができた。

取り組んだ児童の声

- ・周りの人の立場になって考えると、助け合うために自分に何ができるのかが分かった。
- ・自分が行動することで、周りの人とつながりができ、みんなが幸せに過ごすことができると思った。
- ・違いを区別せず、お互いが違いを受け入れることで、自分もみんなも幸せに過ごせると思った。





キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



学校のねらい

東広島市立河内小学校 3年生 13名

- ・河内町は高齢者が多い地域。体験や交流を通して、高齢者の身体の不自由さや気持ちを理解し、他者への思いやりの心を育てたい。
- ・自分たちの暮らしは、地域の様々な人に支えられていることを知り、児童が地域の一員として、自分たちにできることを主体的に考え、行動しようとする意欲を育てたい。

取り組みの内容

①生活するときに「困っていること、大変なこと」についてお家の人にインタビューしよう！（課題発見）

②高齢の方の身体の不自由さや気持ちを理解するために、疑似体験や民生委員さんへインタビューしよう！

③家族や地域に認知症の人がいたらどうしますか？認知症を学び、自分たちにできることを考えよう！



高齢者疑似体験



認知症サポーター養成講座

④学習で学んだことを活かして、地域の施設利用者さんと交流しよう！

⑥お世話になった地域の方々に感謝の気持ちを伝えよう！

⑤福祉体験で学んだことを自分たちの力で表現しよう！



「ハッスルこうち」「リビングたまほこ」を訪問し交流した。



ふれあいありがとうの会



新聞・劇・紙芝居で発表した。

成果

- ・福祉に関する色々な活動・体験を通して、高齢者に対する接し方について『やさしく大きな声で』など、自分たちにできることをしっかり考え学習することができた。
- ・河内町のみんなが笑顔で暮らせる地域づくりを目指して、自分たちにできることを考え、その思いをお世話になっている地域の方々へ伝えることができた。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- ・企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- ・民生委員児童委員や福祉施設、福祉専門職の方に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- ・福祉教材の貸し出しを行う。
- ・訪問先の福祉施設の紹介や交流会の内容等の打ち合わせを行い、学校と施設をつなぐ。
- ・支所だよりや地域の集まり等で取り組みの周知を行う。

取り組んだ児童の声

- ・おじいちゃん、おばあちゃんが笑顔になる町を目指して、自分にできることを頑張ります。
- ・河内町の「ふだんのくらしのしあわせ」をこれから考えていきます。
- ・認知症の人がいたらやさしく声をかけ、家まで一緒に行ってあげたいです。





キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立八本松中学校 3年生 167名

学校のねらい

- ・福祉を自分事として捉え、地域のためにできることを主体的に考えるとともに、地域の一員として積極的に地域に関わろうとする態度を育てたい。
- ・地域との関わりや交流から、多様な人々が暮らす地域でお互いが理解し合いながら生活することや、人と人との繋がり大切さについて学んでもらいたい。

取り組みの内容

①パラスポーツ体験を通して、その魅力を知り、多様性への理解を深めよう！
(体育と関連)

車いすバスケットボールや車いすバドミントン、アダプテッドスポーツを体験した。



地域の方々と一緒に、福祉体験学習に取り組んだ。

②地域の中で多様な人々と理解し合いながら暮らすために、自分たちができることを考えよう！

③介護福祉士さんのお話を聞き、介護・福祉の魅力や、多様な人々と尊重し合いながら生活することの大切さを学ぼう！



④介護・福祉に対する理解を深め、周りの人との関わり方や、自分の将来について考えるきっかけにしよう！

⑥地域の多様な人々と交流することで、一人ひとりの状況に合わせた関わり方を考える力を見に着けよう！
(体育と関連)

⑤地域で暮らす人々と理解し合いながら生活するために、地域の中で自分たちができることを企画しよう！
(体育と関連)



地域のシニア世代、小学生、園児たちと共に楽しめる運動メニューを考案した。



地域住民、小学校、こども園と連携し、『八本松中学校体育教室』を企画した。



映画「ケアニン〜ここに咲く花」を視聴した。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- ・企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- ・福祉専門職の方に講師（ゲストティーチャー）を依頼し、学校とつなぐ。
- ・民生委員児童委員に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- ・福祉教材の貸し出しを行う。
- ・児童や学校から質問があった際は、その都度地域の方とつなぐ。
- ・地域住民や報道機関に情報提供し、取り組みの周知を行う。



成果

- ・生徒が自分にどのようなことができるか考える中で、「共生」という視点について理解を深め、地域の人々との多様な関わり方を見つけることができた。
- ・学習を通じて、地域の一員としてできることをしていきたいという意識の高まりがあった。

取り組んだ生徒の声

- ・地域で暮らす様々な人を「自分とは違う」と突き放すのではなく、本当の意味で理解し合い、多様な人々とお互いに尊重し合うこと、助け合いながら一緒に地域で生きていくことを大切にしていきたい。



キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立安芸津中学校 3年生 57名

学校のねらい

- ・地域の魅力や課題、人々の思いを共感的にとらえると共に、生徒同士の意見交流を通して、新しい視点や方法を身に付けてもらいたい。
- ・安芸津町の実態から課題を見つけ、地域の人と協働しながら「安芸津町の将来を担う」施策を考え、地域に発信し、将来自分がどう地域や社会に貢献していくべきか考えてもらいたい。

取り組みの内容（安芸津活性化プロジェクト）

①安芸津町内の生活状況や福祉の現状を学ぼう！

専門職の話から、地域の現状やボランティアの心得について学んだ。



②地域で認知症の方が安心して暮らせるよう、自分にできることを考えよう！（認知症サポーター養成講座）



③乳幼児とお母さんとふれあって、命の尊さやお母さんの気持ちを学ぼう！

④地域の方と交流し、地域での取り組みを知り、自分にできることを考えよう！

地域サロンや児童館、あきまる園、自立支援センターつばさでボランティア活動を行った。



⑥「すべての人が生活しやすい安芸津」を目指して作成した企画を広めよう！

地域の方など周囲の人に文化祭で発表したり、市内のICTコンテストに応募した。



⑤「すべての人が生活しやすい安芸津」を目指して、生徒が地域でできることを企画し、専門職と深めよう！



社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- ・企画の段階から学校や関係機関と話し合い、プログラムや内容について提案。
- ・地域でのボランティア先について連絡調整を行い、学校での取り組み内容について随時連絡をとり連携した。

成果

- ・地域の多様な人々との学びを通して、「人との関係の中で自分も幸せになることができる」ということを学び、「地域の一員」として「地域の活性化」について考えることができた。



取り組んだ生徒の声

- ・体験をして企画を考えることで、これから積極的に地域のボランティア活動に参加したいと思った。
- ・高齢者や乳幼児、地域の方と話す中で「うれしいね」「ありがとう」という言葉をかけて頂いたことが嬉しかった。
- ・グループで活動して、意見が1つになった時や協力して何かできた時は、とてもうれしかった。

福祉教育のことなら、 まずは社会福祉協議会（社協）にご相談ください！

地域の様々な人材や社会資源とのつながりをもっています！

社協は地域福祉をすすめる団体です。そのために福祉教育を大切にし、学校を含めた地域のさまざまな場面で進められる福祉教育の推進を目指しています。

福祉教育は学校と地域が連携しつつ、地域全体で取り組むことが大切ですが、社協はそのつなぎ役を担うことができます。

社協がお手伝いできること

◎学習プログラム企画の提案

- 学習内容の企画
 - ・学年に合ったプログラム企画の提案
 - ・学校全体での企画の提案

先生方の思いを形にする
お手伝いをします！
まずはご相談ください！



◎講師（ゲストティーチャー）や施設の紹介・調整

- 地域のゲストティーチャーの調整
- 活動先・訪問先などの調整
（障がい当事者の方、福祉施設、自治会、民生委員児童委員ボランティアグループ、地域サロン、サークルなど）
- 社協職員の派遣

◎発表や振り返りの場づくり

- 学んだことの発表や振り返りの場づくり
 - ・地域での発表の場（住民の集う場、地域の行事など）
 - ・地域の方や様々な団体と話し合う場



目の不自由な方への理解を深める

◆アイマスク体験

視覚障がいといっても、全く見えない(全盲)わけではありません。様々な見え方や全く見えない(アイマスク)体験をして、その時の気持ちを感じたうえで、目の不自由な方の生活のお手伝いを体験します。(2時間)

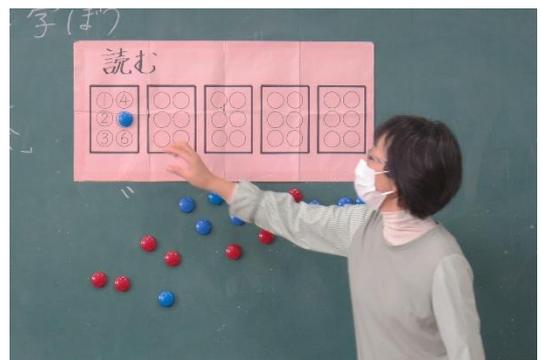
講師/協力団体 ・東広島市社会福祉協議会
・市内福祉施設等



◆点字体験

「点字は身近なところにある」、「点訳をするときのルール」などのお話や、実際に自分たちの名前を点字で打つ体験を行います。(2時間)

講師/協力団体 ・点訳サークル



◆音訳体験

全ての視覚障がい者が点字を読めるわけではありません。また点字が読める人でも、簡単かつ早く情報を入手するために、文字をテープに録音する「音訳」が多く利用されています。

視覚障がい者の方に聞きやすい・分かりやすい読み方などの体験をします。(2時間)

講師/協力団体 ・音訳サークル

※交通費等として5,000円程度の実費負担をお願いします。





◆盲導犬の学習

「盲導犬とユーザーはどうやって歩くの?」、
「視覚障がい者って?」、「自分たちにできるこ
とは?」などについて、島根あさひ訓練センター
の職員の方から教えて頂けます。

最後には、盲導犬とのふれ合いも…? (2時間)

講師/協力団体 ・公益財団法人日本盲導犬協会
島根あさひ訓練センター

・東広島ウエストライオンズクラブ
TEL : (082)422-5464

※小学校は、東広島ウエストライオンズクラブから
3月に郵送されている案内をご覧ください。



耳の不自由な方への理解を深める

◆手話体験

聴覚障がいは、見た目ではわかりません。

「聞こえない人はどのような生活をしている
の?」「伝える気持ちの大切さ」といった説明や、
耳ではなく、見て伝える「言語」である手話につい
て学びます。(2時間)

講師/協力団体 ・手話サークル

※交通費等として5,000円程度の実費負担
をお願いします。



◆要約筆記体験

聴覚障がい者(特に中途失聴者や高齢者)の中
には、手話ができない方も多くいます。

そうした方に話の内容などを文字で伝えるのが
「要約筆記」です。

要約筆記のやり方や、言葉の伝わり方について学
びます。(2時間)

講師/協力団体 ・要約筆記サークル

※交通費等として5,000円程度の実費負担
をお願いします。





足の不自由な方への理解を深める

◆車いす体験

車いすの基本的な操作方法をはじめ、使い方（乗る・押す）を学びます。段差や坂道を体験したり、車いすに乗った状態で通ってみたりします。

実際に体験してみることで、たくさんの学びや気づきがあります。（2時間）

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
・ 市内福祉施設等



高齢の方への理解を深める

◆高齢者疑似体験

「高齢者になったら体の状態はどうなる？」

「どんな気持ちなんだろう？」

筋力低下や関節の動きにくさを体験するような重りやサポーターを装着し、80歳位の身体を疑似体験します。体験を通じ、高齢者の気持ちを想像・理解します。（2時間）

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
・ 市内福祉施設等



◆認知症サポーター養成講座

認知症とはどういう病気？どうやって認知症の方と接すれば良いのかな？

子どものうちから認知症についての正しい知識を身につけるとともに、誰もが安心して地域で暮らし続けることの大切さを学びます。（2時間）(高学年向け)

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
・ 地域包括支援センター





防災・減災への理解を深める

地域では、防災倉庫設置や防災訓練実施など、防災・減災に向けた様々な取り組みが行われており、様々な世代の参画が求められています。当会でもいくつかのプログラムを実施しており、こうした防災・減災の学習を通して、つながりが生まれることで、災害時に助けあえる地域を目指します。



おすすめ!

◆災害カードゲーム クロスロード

「クロスロード」とは、「岐路」「分かれ道」のこと。災害対応は、「人数分用意できない緊急食料をそれでも配るか」など、ジレンマを伴う重大な決断の連続です。1995年の阪神大震災の際、神戸市職員が実際に対応した状況を基に制作されています。

トランプ大のカードを利用した手軽な「Yes/No」ゲームではありますが、災害対応を自らの問題として考えることや、自分とは「異なる意見・価値観の存在」への気づきも得ることができます。（時間応相談）
（高学年向け）



講師/協力団体 東広島市社会福祉協議会

◆避難所運営ゲームHUG^{ハグ} ～もしも、学校で避難所が開設されたら～

避難者やイベントの書かれたカードと、体育館や教室に見立てた用紙を用いて、どれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するカードゲームです。

いざという時に備え、災害発生時の対応について、一緒に考えてみませんか。（2時間）（高学年向け）



講師/協力団体 東広島市社会福祉協議会



◆楽しみながら防災を学ぼう～防災カルタ～

気軽に楽しみながら、防災について学びませんか？
地域や学校、会社等で災害時の事を考えるきっかけ
づくりに取り組むことができます。（30分～1時間）
（低学年～）

分かりやすい内容のため、カルタのみの貸出も可能
です。

講師/協力団体 東広島市社会福祉協議会



◆きいちゃんの避難ゲーム（和歌山県作成）

和歌山県が作成した避難ボードゲームです。冬場の悪
天候の早朝に南海トラフ地震が発生する想定のもと、
地震・津波災害時に避難場所にたどり着くまでの課題
を体験し、事前準備の大切さを学ぶことができる、津波
避難シミュレーションゲームです。津波から逃げ切っ
た残り時間や事前準備などで得られる防災ポイントを
チームで競います。（時間応相談）（高学年向け）

講師/協力団体 東広島市社会福祉協議会



その他、東広島市社会福祉協議会が経験した事例を
元に、災害への備えや、小中学生でも出来るボラン
ティアについての講話も可能です。

まずはご相談ください。





その他

◆福祉の職場魅力発見授業

未来を担う子ども達に、福祉・介護の仕事の「必要性」や「魅力」「やりがい」を伝えます。

人と関わり、そして誰かの生活を支えるこの仕事は、他では決して感じることはできない喜びがあります。進路選択の参考や、福祉の仕事を知るきっかけ等にいかがでしょうか。（1～2時間）（中高生向け）

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
 ・ 市内福祉施設等
 ・ 介護福祉士会



◆映画「ケアニン～こころに咲く花～」

「ケアニン」とは、介護や看護、医療やリハビリなど、人の「ケア」に関わり、その仕事に誇りと愛情と情熱を持って働いている全ての人のことをいいます。福祉・介護に携わるケアニンの仕事に対する想いを身近に感じることができ、福祉・介護に関心を持つきっかけにもなる映画です。（2時間）（中高生向け）

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
 ・ 介護福祉士会



進路指導の先生や、保護者の方にもおすすめです！

◆学習後の成果発表の場づくり

福祉教育を通して学んだことや考えたことについて、地域の方に発表する場づくりのお手伝いをします。

子どもたちが福祉教育で感じたことや気づいたことを振り返り、今の自分に何ができるかを考え発信し実践することで、福祉（ふだんの 暮らしの しあわせ）が他人事ではなく、みんなで築いていくものだと思えていただくことを目的としています。

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会





◆動画教材・プリント教材の提供（広島県介護福祉士会）

教育関係のみなさま 

対象：小学6年生、中学1～3年生

子どもたちに今、伝えたい！超高齢社会の問題と介護の仕事をわかりやすく！
総合的な学習の時間で使える教材の提供

キャリア教育におススメ！

広島県介護福祉士会
監修

テーマ1(約4分)

超高齢社会と介護職の人材不足が影響する
日本の危機について学ぼう！

テーマ2(約20分)

現役中学生が最前線の介護職場に潜入！
プロの介護について学ぼう！

視聴時間

 約 **24分**



制作著作：テレビ新広島

動画教材提供

(視聴時間 24分程度)



URLから
読み取り

 ふくしかいごネット

QRコードから
読み取り



問合せ先 

広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会事務局
(社福) 広島県社会福祉協議会 福祉人材課
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-254-3415 FAX 082-256-2228
MAIL jinzai@hiroshima-fukushi.net

プリント教材提供

(授業プリント・解説プリント付き)



- 教材を提供希望の場合は、次のとおりメールにてご連絡ください。
 - メール件名欄に次のとおりご記入ください。
「教材提供希望」
 - メール本文に次の①～⑥の内容をご記入ください。
①学校名、②学年、③電話番号、④担当者名
⑤プリント必要数、⑥アンケート回答予定者数
 - メール宛先
広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会 事務局 宛
jinzai@hiroshima-fukushi.net
- 事務局からご担当者宛に次の内容を郵送します。
 - 授業プリント ●プリント解説書
 - アンケート用紙 ●アンケート返信用封筒
- 授業で教材を使用後、返信用封筒を使用してアンケート結果を事務局宛にご提出ください。今後の事業の参考にさせていただきます。

令和6年度は
市内38の学校・保育所が
福祉教育に取り組みました！



西条小学校3年生

三ツ城小学校3年生

松賀中学校1年生

寺西小学校3年生

板城西小学校3～4年生

黒瀬中学校3年生

板城小学校3年生

上黒瀬小学校3年生

河内小学校3年生

三永小学校3年生

乃美尾小学校3年生

豊栄中学校1～3年生

川上小学校3年生

中黒瀬小学校4年生

河内中学校2年生

八本松小学校3年生

下黒瀬小学校3年生

安芸津中学校3年生

小谷小学校3年生

豊栄小学校1～6年生

もみじ小学校中学校小学5～中学3年生

高屋東小学校3年生

入野小学校3年生

黒瀬高等学校2年生

高屋西小学校4年生

三津小学校4年生

賀茂北高等学校

東西条小学校3年生

木谷小学校4～6年生

河内高等学校2年生

平岩小学校3年生

風早小学校5年生

河内西保育所年少～年長

御藪宇小学校3年生

龍王小学校4年生

豊田高等学校

高美が丘小学校4年生

八本松中学校1・3年生

木谷保育所年少～年長

福祉教育のことなら

まずは社会福祉協議会（社協）へご相談ください！

名称	所在地	連絡先
あったかひがしひろしま 応援センター	〒739-0003 東広島市西条土与丸 1108	TEL (082) 422-4075 FAX (082) 423-8525
あったかくろせ 応援センター	〒739-2612 東広島市黒瀬町丸山 1286-1	TEL (0823) 82-2026 FAX (0823) 81-0340
あったかふくとみ 応援センター	〒739-2303 東広島市福富町久芳 1545-1	TEL (082) 435-2247 FAX (082) 435-2098
あったかとよさか 応援センター	〒739-2311 東広島市豊栄町乃美 2841-1	TEL (082) 432-2083 FAX (082) 432-2145
あったかこうち 応援センター	〒739-2201 東広島市河内町中河内 1206-1	TEL (082) 420-7011 FAX (082) 437-0281
あったかあきつ 応援センター	〒739-2402 東広島市安芸津町三津 4398	TEL (0846) 45-0201 FAX (0846) 46-0025

私達は福祉教育の内容を充実させるため、新しい取り組みをしていきたいと考えております。先生のお考えや思いが“ヒント”になります。
ぜひお近くの応援センターまで、思いやご意見を聞かせてください。



この事業は、東広島市社会福祉協議会会費・赤い羽根共同募金の配分金の活用など、地域の方の様々な支援で実施しております。